

横浜市 自転車活用推進計画

(2019年度～2028年度)



計画の目的と基本的な考え方

- 自転車は便利で身近な乗り物として、様々な場面で活用されています。
- 一方で、自転車の基本的なルールが守られておらず自転車関係事故も多く発生しています。また、一部の地域では放置自転車も依然として課題となっています。
- 自転車は便利だけでなく、環境への負荷が少なく、健康増進につながり、災害時にも活用が可能な交通手段です。歩行者や自動車、バスなどと共存するとともに、自転車を横浜らしいまちづくりにいかすことが求められています。
- 本計画では、賑わいと回遊性のあるまちづくりを目指し、日常からレジャーまで、誰もが安心して快適に楽しめる自転車環境づくりを進めていきます。

日常の利用



レジャーの利用



横浜市自転車総合計画 (2016年策定)

国の法律・計画

■自転車活用推進法 (2017年5月)

- ・自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進等を図ることなど新たな課題に対応
- ・交通における自動車の依存の程度低減、交通体系における自転車の役割拡大

■自転車活用推進計画 (2018年6月)

- ・自転車の活用の推進に関して基本となる計画

市の主な関連計画

横浜市中期4か年計画 2018～2021

政策 20 市民に身近な交通機能等の充実

- ・歩行者の安全確保や地域の利便性向上
- ・自転車施策の総合的な推進

横浜都市交通計画 (2018年改定)

施策の方向

- ・歩行者空間・自転車の利用環境の整備
- ・公共交通や自転車の利用促進につながる環境整備
- ・マイカーから公共交通等への転換を促す啓発活動
- ・安全に移動できる環境の整備
- ・交通安全教育・啓発の推進

横浜市自転車活用推進計画

計画期間：2019年度～2028年度

策定のポイント

- 2016年に策定した「横浜市自転車総合計画」のまもる、はしる、とめる、いかすの4つの枠組を継承しながら、国の動向や関連する計画等を踏まえて新たな視点を加え、「横浜市自転車活用推進計画」を策定しました。

横浜市自転車活用推進計画

まもる

交通安全教育の実施など

はしる

自転車通行空間の整備など

とめる

駐輪環境の向上など

いかす

自転車活用の推進など

新たな視点

① 健康的な「ライフスタイル」にいかす

健康

スポーツ

② 横浜らしい「まちづくり」にいかす

賑わい・観光

災害対応

横浜市自転車活用推進計画

2019年3月

【編集・発行】

横浜市道路局交通安全・自転車政策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

Tel : 045-671-3644 Fax : 045-663-6868

基本理念 賑わいと回遊性のあるまちづくりを目指し、日常からレジャーまで、誰もが安心して快適に楽しめる自転車環境をつくる

まもる

自転車の安全利用に必要な、ルール・マナーを伝える



誰もがルールを守り、周りへの配慮ができる意識の醸成を目指し、交通安全教育の充実や自転車保険の加入促進等に取り組みます。

- 方針 1** 交通ルールを学べる環境をつくる (1)切れ目のない交通安全教育の場・機会の充実 (2)教育・啓発・指導ができる体制づくり
- 方針 2** 安全・安心に自転車を利用できる環境をつくる (1)自転車とクルマが互いに配慮できる意識啓発 (2)自転車保険の加入促進 (3)安全に乗るための点検・整備方法の周知啓発

PickUP 施策 自転車保険の加入促進

- 神奈川県が自転車保険の加入義務化を伴う条例の制定を予定していることも踏まえ、本市でも引き続き、様々な機会を通じて自転車保険の加入促進に取り組めます。



自転車関連イベントでの啓発

はしる

安全・快適に自転車を利用できる通行環境をつくる



歩行者の安全を確保しながら、自転車を安全・快適に利用できるよう、地域内のネットワークと、地域をつなぐ広域的なネットワークを組み合わせ、自転車通行空間の整備を行います。

- 方針 1** 地域の自転車ネットワークをつくる (1)重点エリアでの自転車通行空間の整備推進 (2)都心臨海部における自転車利用環境づくりの推進
- 方針 2** 地域をつなぐ広域ネットワークをつくる 広域的な自転車ネットワークの形成
- 方針 3** 安全で快適な自転車通行環境をつくる 自転車通行環境の快適性向上

PickUP 施策 重点エリアでの自転車通行空間の整備推進

- 重点エリアを指定し、エリアごとに地域の実情を踏まえながら「自転車通行空間整備実行計画」を策定します。
- 実行計画に基づき自転車通行空間の整備を進めます。



整備された自転車専用通行帯

とめる

自転車を適切に止められる駐輪環境をつくる



通勤・通学、買い物など駐輪が発生する場所において、駐輪目的や需要に応じた適切な対応を図ります。駐輪場の「量」の確保や、サービスの「質」の見直しを図り、まちに適した駐輪対策を進めます。

- 方針 1** 目的に応じた駐輪場の「量」を確保する (1)買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保 (2)鉄道利用等に対応した駐輪場の拡充
- 方針 2** サービスの「質」を高める (1)市営自転車駐車場のサービス向上 (2)持続可能な市営駐輪事業のしくみ構築
- 方針 3** まちに適した駐輪対策を進める 地域・民間・行政の連携による駐輪対策の実施

PickUP 施策 買い物等の集客施設での利用に応じた駐輪場の確保

- 駐輪場の附置義務制度の適切な運用により、駐輪場を確保します。
- 公共空間を活用した駐輪場の設置を、商店街や民間事業者等と連携して推進します。



公共空間を活用した駐輪場設置

いかす

自転車をヨコハマでの暮らしやまちづくりにいかす



健康に良く、環境に優しい自転車を、ヨコハマでの暮らしの中で活用していきます。また、観光や賑わい創出、災害対応など、様々なまちづくりの場面での自転車活用を進めます。

- 方針 1** 健康的な「ライフスタイル」にいかす (1)自転車を活かした健康づくりの支援 (2)サイクリスポーツへの興味を高める取組推進
- 方針 2** 横浜らしい「まちづくり」にいかす (1)観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進 (2)まちづくりと連携した自転車活用の推進



ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 © Shinji KAWATA/JTU



本市主催のサイクルイベント © Aardman Animations Ltd 2019

PickUP 施策 自転車を活かした健康づくりの支援

- 自転車活用のポータルサイトを立ち上げ、健康づくりをキーワードとした情報を提供するほか、イベント等での周知啓発等を通じ、健康づくりと自転車に関する情報提供を行います。
- 自転車通勤者がルールを守って安全に自転車を利用できるよう、周知啓発を行います。

PickUP 施策 まちづくりと連携した自転車活用の推進

- 自転車活用の着実な取組を推進するため、本市のまちづくりに関連する計画と連携を図ります。
- 災害発生後の情報収集や復旧時での自転車の活用を推進します。

PickUP 施策 観光や賑わいのあるまちづくりでの自転車活用の推進

- 都心臨海部において、自転車通行空間の整備や、観光施設・公園・港湾緑地等での駐輪場の設置を検討します。
- 本市と民間事業者が協働で進めている横浜都心部コミュニティサイクル「ベイバイク」について、サイクルポートの拡充や、イベント時の臨時ポート設置によるPRなどの利用促進を進めます。
- 地域の賑わいを創出するサイクルイベントの開催支援や、地域の歴史や自然などの地域資源を巡るサイクリングマップ等の活用支援を行います。



都心臨海部 (C)Hideo MORI



横浜都心部コミュニティサイクル「ベイバイク」